



我が町の
消防団
part. 4

南国市消防団
琴平分団浜改田班
の皆さん

※お話は森國副分団長
(写真前列左端)

に
こ
こ
ら
い
フ
178



市民からのお便り (親子クイズ) 孫と2人でチャレンジしました。孫が教えてくれました。

浜改田班の年齢構成は30〜50代ですが、上下の隔たりがなく、団結力が強いと思います。私生活でも農作業をお互いに手伝い合ったりするほどです。団の活動にもみんな積極的で、「火は消防団員が消す。消防職員は人命救助を！」という熱い団員もいます。

新しい団員が入ったら、まず放水の仕方から練習するようにしています。夏季演習の注水競技は、普段の練習では味わえない緊張感の中での放水だったので、この経験は本番にも絶対役立つと思います。今年の夏季演習でも注水競技をやって欲しいですね。

今後は分団同士でも分団内でも、今以上に地域や年齢の分け隔てなく交流していきたいです。若い団員にもそういう南国市消防団を作っているって欲しいと願っています。でも日章分団長とは同じ年なのでライバル意識がありますね(笑)。

日章分団には絶対負けんぞ！

昨年12月には最新鋭の消防ポンプ車が導入されたそうです。「最新鋭の消防ポンプ車」と「団結力の強い団員」の組み合わせは、地元にとって心強いですね！

親子クイズ 516

Q 父方のおじいちゃんが血液型・O型、父方のおばあちゃんがA型、お父さんがA型、お母さんがA B型、僕の血液型は？

- ① A型
- ② A B型
- ③ B型
- ④ ①〜③の内の1つ
- ⑤ ②または③

【第515回解答】

- ①目 (項目、名目、目録、目的)
- ②着 (先着、到着、着物、着目)
- ③手 (着手、握手、手段、手形)

【第515回当選者】

榎本 栄子 (物部乙)
窪田 寿美 (篠原)
小松 豪 (比江)
森国 豊 (十市)
横田 麻美 (大浦乙)

■応募締切／5月14日(木)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大浦甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／110通 ★正解率／100%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

市民からのお便り (親子クイズ) 娘(0歳)が昼寝している間に、ひっそりクイズを楽しんでいます。



岩村土居城跡の堀



岩村土居城跡 (全体図)

なんこく歴史散歩 第30回

岩村土居城跡は、県道前浜植野線沿いの福船郵便局の東400mほどのところにあります。城跡の北東隅および北西隅にはL字状に土塁も残っており、南西の隅と考えられるところにある八幡宮とあわせて判断すると、城跡の範囲は東西60m、南北100mと推定できます。

ー岩村土居城跡ー

ことからは、かつては水を溜めて敵の侵入に備えていたことがうかがえます。また、城の東側には二重の堀が南北に延び、北東部隅で一つに連結していたことも確認できました。

岩村土居城は、築城年代を示す史料が無く、城主も不明ですが、土佐の南北朝時代の争乱を伝える『佐伯文書』には、建武3(1336)年に北朝方によって焼き払われたことが記されています。発掘調査では、堀から14世紀後半から15世紀前半の遺物が出土していることから、一度は落城した岩村土居城も、守護代細川氏の土佐入国によって台頭した国人層の居城として堀を構え、防御を強化していったことがうかがえます。しかし、16世紀後半までには堀も埋められ、『長宗我部地検帳』には屋敷や耕地となっていたことが見て取れます。このように、発掘調査や歴史史料などの検証によって、岩村土居城跡の語られなかった歴史を描き出すことができます。

※お問い合わせは
生涯学習課文化財係
(☎880・6569) まで

51 人権学習シリーズ

あなたは、歩行者信号が左下の図の状態だった場合に横断歩道を渡りますか？

人は判断する道具や材料として色を使うことがよくあります。場合によっては、形よりも色を優先して判断する事例なども研究で報告されており、先ほどの信号機などもその例に含まれます。

「色の使い方を考える」



図1

そのような色の見え方に個人差があることに對して配慮を行うよう、行政も取り組み始めています。たとえば、市役所で使用される色紙に印刷された各種証明交付申請書の右上端には色の名前が記載されるようになりました。

すべての人に同じ色が見えように見えている訳ではなかったとしても、関心を持ち、工夫をすることによって、誰にとっても豊かな日常生活は実現可能だと思います。

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
(☎880・6569) まで